

第 110 回技術倫理協議会 議事録

1. 日 時：2022 年 11 月 22 日（火） 10：00～11：20

2. 場 所：オンライン会議（Zoom）

3. 出席者（役職順／所属順、敬称略）

議長：草柳 俊二

副議長：吉開 範章

幹事：伊藤 和也、木下 宏揚、横山 真吾

委員：皆川 勝、大澤 和敏、貴志 公博、中野 智仁、石川 孝重、夏目 賢一

業務担当理事：蘆立 修一

アドバイザー：三木 哲也、松久 寛

オブザーバー：田中 克、吉沢 清晴、岩西 伸介

事務局：木暮 賢司

4. 議題

① 前回議事録(案)について（審議）（技倫資料110-3-1, 110-3-2）

② 第18回公開シンポジウム（審議）（技倫資料110-4-1）

・日時 2022年12月8日(木) 13:00～17:15

・会場 土木学会 2階 講堂

・テーマ 国際社会で活動するために必要な技術者倫理

・アンケートとアンケート送付について（技倫資料110-4-2）

<https://forms.office.com/r/pHMKKgM4Ay>

③ 教育コンテンツのリスト一覧（技倫資料110-5）

④ 会員学協会活動報告について（報告）（技倫資料110-6）

⑤ 次回第110回以降協議会日程について（審議）（資料なし）

・第111回：2023年 月 日（ ）

＊時間： ： ～ ：

＊場所：Zoom（予定）

⑥ その他

5. 議事

① 前回議事録(案)について、議事内容の確認、審議を行い、原案を承認した

② 第 18 回公開シンポジウム（日程、会場、テーマについて）（審議）（技倫資料 110-4-1、110-4-2）

③ 教育コンテンツのリスト一覧（技倫資料 110-5）

資料『教育コンテンツのリスト一覧』（技倫資料 110-5）を基に議論を行った。

④ 会員学協会活動報告について（報告）

⑤ 次回第111回協議会は、2023年1月30日（月）10時00分から12時00分まで、オンライン（Zoom）で予定する。

⑤ その他

第 110 回技術倫理協議会（2022 年 11 月 22 日）会員学協会活動報告

	学協会名	報告概要
1	公正研究推進協会	次回，12 月 6 日（火）に開催予定の理工学分科会に向けて，引き続き，倫理教材の新たな単元の内容について，ワーキングごとに検討を進めている。
2	電気学会	・電気学会倫理委員会「特別企画検討 WG」打合せ（10/27、31） ・「研究公正について考える」を 1/20 に千葉工大で開催予定（https://www.iee.jp/blog/rinri_event_20230120/） ・電気学会倫理委員会「事例集第 3 集 WG」第 3 回会議を 11/2 に開催
3	電子情報通信学会	前回から委員会活動がまだないため報告はありません。
4	土木学会	倫理・社会規範委員会・建設マネジメント委員会共同開催「継続的契約管理セミナー」 第 3 回 11 月 21 日(月) の実施 1) 「公共工事標準請負契約約款の条項分析 第 7 条～第 19 条」草柳俊二（高知工科大学名誉教授） 2) 「実例に基づく公共工事のリスク管理～総合評価落札方式及び技術提案・交渉方式適用工事を例として～」中洲啓太（国土技術政策総合研究所室長） 3) ディスカッション 第 4 回 は 12 月 20 日（火）に開催予定
5	日本化学会	
6	日本機械学会	前回から委員会活動がまだないため報告はありません。
7	日本技術士会	1. 倫理委員会 ①今月は開催なし。 ②第 48 回全国大会（奈良・関西）技術者倫理情報連絡会 ・10/28（金）午後、奈良県文化会館にて開催。 ・統括本部倫理委員会活動報告、技術士倫理綱領改定案の紹介を行い、改定案に対する各委員からもご意見をいただいた ・各地域本部からも活動報告を行い、意見交換を行った。 教育機関や企業における技術士倫理の進め方や教材について意見交換があり、今後情報共有したいとの声が多かった。 ②最近の技術者倫理事例『なぜ国家資格などの不正取得事例が起こるのか』を新たに作成し、倫理委員会ウェブサイトに掲載した。 https://www.engineer.or.jp/c_cmt/rinri/topics/007/007304.html 2.. 今後の予定 ・第 9 回倫理委員会 2022 年 12 月 7 日（水）15:00～17:00
8	日本原子力学会	11/4 に委員会を開催（次回 12/14 開催予定） ・2023 春の大会（東京大学駒場：3/13～15）における企画セッションの細目を議論している。テーマとしては 20 年シンポジウムのテーマ「私たちの意識と行動」（業務において、組織文化や安全文化はどのように意識され、行動となっているか。どのような行動をとっていくのが良いか。）をベースとし、原子力事業者の企業文化にも詳しい識者からの講演と講演に基づく事業者、会場とのディスカッションのような構成

	学協会名	報告概要
		で検討している。 ・研究機関における安全文化について継続検討している。この検討は今後の倫理委員会の活動に反映するためにも、資料として残すとともに倫理規程に反映することを考えている。 ・倫理委員会の活動をより活性化するために、「現状の倫理委員会の問題点」「自分への倫理委員会業務の負担の度合い」「職場内での倫理委員会業務の見られかた／評価のされかた」「理想的な倫理委員の構成」「委員の負担なくできる学会員への倫理規程浸透施策」「現実社会、直面する課題を前にしてのしかしながらの「倫理」の意義」の視点で活動の振り返りを行っている。
9	日本建築学会	・11月16日に倫理実践検討小委員会が開催され、「倫理綱領・行動規範」のガイドライン（パンフレット）」の全体構成ならびに今後の進め方について検討を行った
10	日本工学教育協会	・WS「Well-beingを志向するエンジニア教育の構築～ドラマ教材を活用した Positive Engineering Education の導入と展開～」実施（11/5 オンライン）、講演1，グループワーク，参加者17名． ・協会発行物の撤回，取り下げの規程類継続検討． ・研究倫理啓発教材開発検討 ・調査研究活動「社会の福利を志向する技術者育成（ポジティブエンジニアリング教育）の可能性の検討」2022/10～2023/9
11	日本非破壊検査協会	
12	日本マリンエンジニアリング学会	

（以上）